

第二部 ミミズ酵素・ルンブロキナーゼが血栓を溶かす

第六章 ミミズ酵素の健常人（研究室スタッフ）での試験 前半

ミミズ酵素粉末を服用しても副作用の無い事を博士自身が証明していたので、その後は安心して研究室の数名のスタッフを被験者にしたヒト試験が始められました。

ミミズ酵素粉末のカプセルを毎日 200 mgずつ朝昼晩と服用させ、初日、2日目、4日目、8日目、11日目、17日目と採血して血中線溶活性を調べるという試験を行いました。

（注意：この場合の粉末は、ミハラルベルスに含まれているようなより精製された粉末ではないので活性力が違います。服用量なども実験用の粉末でのものです。）

服用検査の結果

- ① ミミズ酵素粉末を服用した翌日から**血中線溶活性（血栓本体のフィブリンを溶かす力）の亢進**が見られた
- ② 血管内皮細胞から分泌される **t-PA は翌日から血中に増加**していた
（t-PA とは、タンパク質分解酵素のこと。線溶活性が亢進している事を表します）
- ③ **フィブリン分解産物**は服用前には見られなかったが、**服用した翌日に大量に出現**し、その後も出現が見られた
（フィブリン分解産物とは、血栓本体であるフィブリンが分解された結果出るもの）

被験者には血栓症の症状などは勿論ありません。それでも血管の中に大量のフィブリン分解産物が増えたということは、ミミズ酵素粉末カプセル服用で、線溶活性が亢進し血栓が多く分解されたという証拠が出た事になります。

- ④ 2日目、4日目、8日目で観察すると1日目より少なくなったが、フィブリン分解産物は出ていて、17日目には全く見られなくなった

博士はこの結果から、ミミズ酵素粉末を服用することで、血管内にあったフィブリンが分解し、17日目には全部分解されたのではないかと考えました。

実はヒトは25歳を過ぎた頃から、どれだけ健康でも血液の中に血栓が出来始めるようです。これはごく自然な事で、即、病気の危険性があるというわけではありません。また、血栓が出来てしまっても自分自身が持っている血栓溶解酵素により日々出来た血栓を溶かすことで、脳血栓症、心筋梗塞などの重篤な病気にならないようにしています。しかしながら、自身が持つ酵素にも限界が有ります。ヒトが持っている血栓溶解力を補助するように、ミミズ酵素粉末でより多くの血栓を分解し、血液の中をきれいにしてくれることを発見しました。

第二部 ミミズ酵素・ルンブロキナーゼが血栓を溶かす

第六章 ミミズ酵素の健常人（研究室スタッフ）での試験 後半

研究室のスタッフを被験者にしたミミズ酵素粉末服用ヒト試験では、被験者全てにおいて、翌日からフィブリン分解産物（血栓本体であるフィブリンが分解された結果出るもの）が増え、そして17日目にはほぼ見られなくなりました。その後も様々な年齢、性別の方々にフィブリン分解産物の測定を続けたところ、興味深い結果を沢山得ました。

① 20代の女性Aのヒト試験結果

フィブリン分解産物は見られなかった。血液の流れもさぞイキイキしていたのでしょう！

② 25歳の女性Bのヒト試験結果

フィブリン分解産物が見られた。

同じ女性でどちらも20代なのに、この結果の違いは何故だろうか？

25歳のBの女性に体調についてたずねたところ、「冷え症で困っています」という返答でした。冷え症も血流の悪さが原因の一つです。冷え症で血流が悪いことと血栓の存在を関連付ける結果でした。

③ 美原博士自身のヒト試験結果

すでに2年間ミミズ酵素粉末を服用していたため、試験前から血中線溶活性は高く、**t-PA**の値も高いことがわかりました。

また、驚くべきことに、博士のフィブリン分解産物はほとんどみられませんでした。

既に40代だった博士の結果の理由は？

それまで服用していた量よりも試験用に服用した量が多かったせいではないかと考えられます。

一般的に年齢から考えれば血栓が沢山あってフィブリン分解産物も沢山あると思われそうですが、ミミズ酵素粉末を日頃から服用して血管の中がきれいに掃除されていたため、血栓が無くフィブリン分解産物が出てこなかったのではないかと考えられます。

ところで、美原博士は75歳を過ぎても新聞等を読む時によほど暗い所で無い限り老眼鏡をしません。これは遺伝的なものも有るとは思いますが、ミミズ乾燥粉末を服用した方々の中に「目がよく見えるようになった」とおっしゃる方がいると聞き、ミミズ乾燥粉末により目全体の血流がよくなっていることと関係があるのではと考えています。

フィブリン分解産物（FDP）の測定方法ですが、FDP測定では、フィブリノーゲンの分解も一緒に測定されてしまいます。そこでフィブリノーゲンが活性化されてフィブリンになる時にできるD-ダイマーという物質も測定しました。その結果、ミミズ酵素を服用した翌日にD-ダイマーが増加していることもわかり、ミミズ酵素によって血液中にあったフィブリンが分解されたと正式に結論付けることができたのです。